

日本学術振興会 産学協力研究委員会
炭素材料第117委員会
令和2年度特別講演会 プログラム (案)

1. 日時：令和2年11月12日（木）13：00 -17：15

2. 場所：リモート開催

3. プログラム

- 13:00-13:05 開会あいさつ 委員長 羽鳥浩章
- 13:05-13:45 炭素材料第117委員会70年の歴史と2050年に向けた産学連携：
脱炭素社会に向けた炭素材料の研究開発を考える
委員長 羽鳥浩章（産業技術総合研究所）
- 13:45-14:25 D分科会の紹介およびカーボンブラシの現状と今後の役割
D分科会主査 上野貴博（日本工業大学）
- 14:25-14:55 次世代社会に貢献する次世代が担う炭素材料開発
特任幹事 入澤寿平（名古屋大学）
- 14:55 - 15:05 休憩
- 15:05-15:45 招待講演：新たな炭素製品の創出における産業界と学術界との連携必要
性と117委員会への期待
炭素協会ニューカーボン部会 委員長 森下隆広（東洋炭素株式会社）
- 15:45-16:15 メソフェーズピッチの形成機構解明を目指した研究について
中林康治（九州大学）
- 16:15-16:45 カーボン材料の局所構造解析に基づく材料設計
瓜田幸幾（長崎大学）
- 16:45-17:15 新規アンモニア合成プロセスのための炭素担持Ru触媒の開発
西 政康（産業技術総合研究所）